

日本スポーツ栄養学会 第10回大会に参加して

ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター

公認スポーツ栄養士 江夏 直子



2024年9月21日(土)および22日(日)に女子栄養大学にて、日本スポーツ栄養学会第10回大会が開催されました。また、10月1日から31日の期間にはオンデマンド配信されました。デュアル開催により、現地参加が難しい場合だけでなく、他のプログラムと重なって参加できなかったプログラムも視聴することができました。

1日目の大会長講演「アセスメントと実践」は、香川雅春先生よりアセスメントの実施と結果の活用について、世界の歴史だけでなく香川家の歴史も交えながら幅広い視点でご講演いただきました。改めて、アセスメントをスポーツ現場で選手のサポートに活かすためには、どんな基準で計り、どのように解釈して、どうやってフィードバックするかという点を再認識できました。

シンポジウム2「スポーツ現場における身体計測の活用と実践」では、サポーターとして参加させていただきました。岩本紗由美先生による、正しい身体計測のルールや、現場での活用法についてのご講演および実技のプログラムでした。スポーツ栄養学会初の実技を含むプログラムでしたが、参加者の積極的な取り組みが印象的でした。身体計測が多くのアスリートに活用されると良いと思いました。

懇親会では、女子栄養大学の農園で作られた野菜を使った手の込んだお料理や、埼玉県産の日本酒やビール、マグロの解体ショー、美味しいスイーツなど、参加された方々と一緒に舌も心も楽しむことができました。

一般演題では、研究、調査発表、症例報告、スポーツ栄養マネジメント報告、実践活動報告の発表が行われました。発表後も活発な意見交換が行われており、改めて対面開催の良さを感じました。

ランチョンセミナーのテーマは、身体不活動、体組成計測、時間栄養学、コメ、キウイフルーツと多彩な内容でした。気になるお弁当は、1日目が女子栄養大学監修の〈豆腐ハンバーグと10種の野菜弁当〉と〈補食〉、2日目は〈サバのみそ煮弁当(玄米)〉と趣向を凝らしたメニューでした。

最後に、このような素敵な場を提供していただいた大会長の香川雅春先生をはじめ、大会実行委員の皆様、スタッフの皆様、そして日頃よりスポーツ栄養学会を支えていただいている理事、評議員の皆様にご心より感謝を申し上げます。次回、第11回は九州初の大会ということで、中村学園大学でもまた多くの方々と交流できるのを楽しみにしております。

